

『万葉集難訓歌を明快に解く！』朝倉慎一

【書籍情報】

- ・書名 : 万葉集難訓歌を明快に解く！
- ・著者 : 朝倉 慎一 (Shin'ichi Asakura)
- ・ISBN : 978-4-434-36742-7 , C0192
- ・NCID : BD13589490 (CiNii Books)
- ・サイズ : A6 文庫本、160 頁、厚さ 11mm、141g
- ・定価 : ¥1,100 円(税込)、(本体 : ¥1,000 円)
- ・発売元 : 株式会社 星雲社
- ・発行所 : 銀河書籍
- ・発行日 : 初版 第1刷 2025 年 10 月 21 日
- ・著作権 : © 朝倉 慎一 2025
- ・公式サイト <https://manyo-meikai.github.io/>
(正誤表を掲載)

【内容説明】

本書は、以下の 5 つの研究論文を収録しています。

- 「額田王の莫囂圓隣歌の試訓と意識の提案」 (巻一・ 9)
- 「中大兄の大和三山の歌の別解釈の提案」 (巻一・ 13, 14, 15)
- 「額田王と井戸王の三輪山の歌の別解釈の提案」 (巻一・ 17, 18, 19)
- 「高市皇子の三諸の歌の試訓と意識の提案」 (巻二・ 156)
- 「持統天皇の燃火と向南山の歌の試訓と意識の提案」 (巻二・ 160, 161)

1300 年の謎とされる万葉集 難訓歌に対し、客観的な語義的視点から明快な解決案を提示。

- ・独自の『表意兼表音文字 (掛詞的な仮名)』の概念を導入し、
莫囂圓隣歌 (9 番歌) を『有間皇子の昇天を想う湯気の文脈』として初の全文意識。
- ・大和三山 (13-15 番歌) では、『高山』を『かぐやま』ではなく、
素直に『たかやま』と読むことによって、長年続いた性別論争に、終結案を提示。
- ・三輪山 (17-19 番歌) では、『三輪根麻呂』仮説により唱和の矛盾を解消。
- ・さらに十市皇女の自殺を示唆する三諸の歌 (156 番歌) や、
天武天皇の八角墳と成仏を詠んだ燃火・向南山の歌 (160, 161 番歌) など、
歴史と符合する緻密な独自解釈を論文形式で詳述している。